

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428/FAX 03-3263-9789 「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

まんすりー 全旅連情報

発行日：平成26年3月1日

定価：150円

発行人：清澤正人

印刷：山陽印刷株式会社

旅政連支部長会議・第2回全旅連理事会・ 旅政連全国の集いを開催	1
第5回正副会長会議開催／消費税外税表示 勉強会実施の報告 他	2
全旅連女性経営者の会 (JKK) 第3回定例会議	3

コンシェルジュ読本作成委員会 第3回現地調査	4
コンシェルジュ読本作成委員会 第4回現地調査	5
お知らせ NHK放送受信料額の変更	6
全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
全旅連協定商社会名簿	8

旅政連支部長会議・ 第2回全旅連理事会等を開催

全国旅館政治連盟 (佐藤信幸理事長) は2月18日、東京・千代田区の全国町村会館で平成26年度支部長会議を開き、平成25年度活動報告、平成25年度収支報告及び監査報告、平成26年度活動方針案、パーティー券購入案、及び収支予算案を審議し、原案の通り承認した。平成26年度は、耐震改修促進法による耐震診断・耐震工事については、事業者にも多くの負担が及ばない補助率と融資の確保を目指すほか、消費税については、組合員が価格転嫁しやすい外税表示の維持・徹底と恒久化やNHK受信料の英国放送協会 (BBC) と同程度の値下げを目指すなど11項目を掲げて活動していく。

全国旅館政治連盟パーティー券購入額 (固定費) は平成25年度の20万円に対し10万円の値上げが承認され30万円となった。これは、政治的に解決していかなければならない懸案事項が年々多くなってきており、平成26年度も多くの会議が予定されるなど旅政連の活動資金もそれ相応に求められているため固定会費の改訂となった。

引き続いて行われた全旅連平成25年度第2回理事会では平成26年度通常総会提出議案、耐震改修実施に伴う建設資金積立の取り崩し、平成26年度理事会並びに通常総会開催日時 (平成26年6月3日)・場所 (南三陸ホテル観洋) 並びに平成27年度全国大会開催地案 (佐賀県) などを承認。人事では清澤正人理事の専務理事就任を承認 (正式には、6月の通常総会をもって就任となる。) した。また、全旅連を窓口とするチェーンホテル一括入会について、全旅連が各都道府県組合とチェーンホテルとの橋渡しを行ったうえで、支部組合への入会についても前向きな取り組みをもって推進していくことを決めた。報告事項では、多田計介シルバースター部会長からシルバースターの登録拡大と第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」エントリー推進の協力依頼、3月末発行のコンシェルジュ



あいさつする佐藤理事長。
右は近兼副理事長



理事会での正副会長らによる
執行部



旅政連の全国の集いであいさつする左から
観議連の細田会長、望月幹事長、高階事務局長、
岩屋幹事長代理



全国の集いで乾杯のあいさつ
をする今井東京都支部長



読本、3年目となる今夏の「ハローキティ」誘客キャンペーン (オリジナルうちわ作成など) について説明があった。

会場を移し、赤坂四川飯店で開かれた旅政連「全国の集い」では細田観議連会長があいさつし「耐用年数の問題は、地方税当局が他の建物全体を勘案すると2段跳びの対応はできないとのことであった。観議連としてはまた次の1段を考えていく所存だ」と述べ、業界の協力を求めた。また会場では望月幹事長、高階事務局長、岩屋幹事長代理らが出席し、懇談した。

第5回正副会長会議開催

第2回理事会提出議案や旅政連活動報告など承認

全旅連は1月30日、平成25年度第5回正副会長会議を全旅連会議室で開き、理事会提出議案のほか全国旅館政治連盟等に関する議案を審議した。

冒頭、佐藤会長は、「旅館・ホテルの建物に係る固定資産評価の見直しが決定し、大変喜んでいる。建物は用途により7つの類型があり、その中で百貨店、旅館・ホテル、劇場、娯楽場が1つの類型となっているが、見直しが行われたのは旅館・ホテルだけということであり、厳しい状況下において経過年数の短縮を勝ち得たことで大きな達成感を感じている」「消費税の外税化では、平成25年10



東京五輪に併せての地方の活性化と新たな宿泊需要を目標として語る佐藤会長

月1日から認められたことにより、全旅連では外税の表示でフロント等での掲示を勧めているが、消費者の反応を把握することも大切であり、今後何らかの対応を行っていききたい」「耐震診断や改修における費用は、全国旅館会館を例にとると診断で1㎡当たり621円、改修で1㎡当たり2万8580円となる」など現在関心を寄せている事柄についての情報を述べたほか、「2020年東京五輪開催に併せての地方の活性化とスポーツ旅行を通しての新たな宿泊需要の喚起」構想について述べた。

議事では「理事会提出議案の平成26年度の事業計画案と予算案」「耐震改修工事実施に伴う建設資金積立金の取り崩し」「全国旅館政治連盟平成25年度活動報告並びに収支報告」「第92回全旅連全国大会（宮城県）並びに第93回全国大会（佐賀県）」については原案通り承認した。報告事項では、青年部長から①消費税表記でじゃらん、楽天トラベルが示している外税に対応するとの意向②国交省の旅館ブランド推進検討協議会への参加（外務省からの協力要請も）③ホテルショーで日本能率協会と共催での事業の実施などが報告された。

消費税外税表示勉強会実施の報告

昨年6月の消費税転嫁対策特別措置法の成立に伴い、平成26年4月からの消費増税への対応として全旅連税制委員会が作成した消費税外税表示についての資料を使用して、昨年9月～11月にかけて47都道府県旅館組合で消費税外税表示勉強会を開催した。

勉強会においては、外税表示が平成25年10月1日から可能となったこと、掲示方法について、宿泊客に本体価格の他に税金等が別途請求されることをわかりやすく明記すること【例：宿泊料10,000円の場合、10,000円（消費税、入湯税別）など】、消費税の価格転嫁を行わない場合、増税時には利益の圧迫につながるといった内容が説明された。消費税転嫁対策特別措置法は時限立法であり、平成29年3月31日まで外税表示を認めているが、全旅連では、この期間内に外税表示を業界に定着させ、組合員それぞれが消費税の価格転嫁を確保して欲しいとしている。

消費税増税に合わせて、4月以降「じゃらんnet」、 「楽天トラベル」が税抜表記へ変更

予約サイト「じゃらんnet（株式会社リクルートライフスタイル）」、「楽天トラベル（楽天トラベル株式会社）」が4月以降の消費税8%への引き上げに伴い、料金表示について一部税抜表示を実施すると1月下旬にそれぞれの契約施設へ通知を行った。

変更内容の一部

「じゃらんnet」

検索結果表示 ▶（現行）「税込・サービス料込」
→（変更後）「税抜・サービス料込」、

プラン詳細以降の表示 ▶（現行）「税込・サービス料込」→（変更後）「税抜と税込を併記」。

「楽天トラベル」

検索結果表示、プラン一覧表示 ▶（現行）「税込・サービス料込」→（変更後）「税抜・サービス料込（一部、税込・サービス料込との併記）」

宿泊予約・ログイン画面以降 ▶（現行）「税込・サービス料込」→（変更後）「税抜・サービス料込と、税込・サービス料込との併記」

全旅連女性経営者の会(JKK)第3回定例会議

全旅連女性経営者の会(北川雅代会長、JKK)は1月22、23の両日、山形県・かみのやま温泉「展望露天の湯 有馬館」で定例会議を開き、勉強会では、講師に特定社会保険労務士の土屋講氏を招き、労務管理について学んだ。

土屋氏は「旅館・ホテル業を取り巻く労働環境をみると、24時間の就業形態から労働条件が多種多様であることや経営者の労働法に対する認識不足などから、他業種に比べ、労働トラブルに発展する例が多い」と述べ、「労使紛争の調停とかで関係機関(監督署)に呼び出されるなど余計なエネルギーを費やさないためにも、人事管理の実務の対応にはしっかりと取り組んでほしい」と語り、次のように解説した。

◇そもそも問題社員とはどのような社員を言うのかといえば、それは、「会社に対して労働契約上の義務を守らない社員」である。労働義務について具体的に述べると、労働の内容・遂行方法・従事する場所などに関する使用者の指揮に従って労働を誠実に遂行する義務をいい、また、就業時間中は職務に専念しなければならないという職務専念義務である。これは個別的労働力という観点から指摘したものだが、他には組織的労働としては企業秩序維持義務がある。使用者による組織的労働の円滑かつ効率的な業務のため、組織体としての規律を遵守し、秩序を維持する義務をいい、さらに誠実義務がある。労働契約は、属人的・継続的性格を有しているため、労使の信頼関係が求められている。そのため、労働者は、使用者との信頼関係を損なうような言動を行ってはならない義務を負っている。そこには信用保持義務、秘密保持義務、競業禁止義務など使用者の利益に反する競業行為をおこなってはならない義務がある。

問題社員の各種の類型がいかなる義務に反するかを認識することが重要なため、次に問題社員の類型について述べてみると①欠勤、遅刻、早退の多い社員②私傷病により長期欠勤(休職)する社員、私傷病により欠勤までに至らないが十分な就労ができない社員③上司からの業務命令に従わない社員、時間外・休日労働命令・配転・出向命令などを拒否する社員④上司に対して反抗的な態度を繰り返す社員、同僚との間でコミュニケーションがとれない、あるいはトラブルを起こす社員⑤セクハラを行う社員⑥横領・背任を行った

佐藤会長が業界の課題とその対応について講話

JKKの勉強会では、佐藤会長が「業界が抱える喫緊の課題とその対応」と題して講演を行った。



差し迫った課題としては建物に係る固定資産評価の見直し、耐震改修促進法の改正、消費税外税化といった課題であるとし詳細に解説し、政治的に解決していかなければならない問題が年々多くなっていると述べた。この中で消費税転嫁対策特別措置法が施行され平成25年10月から29年3月末日まで、税抜価格(外税)表示が認められたが、外税化については業界としては何としても恒久的な政策となるようにしていかなくてはならない問題であると強調した。また、地方の活性化では東京オリンピックに合わせた「各都道府県で1個の金メダル」構想を披露するなど多岐にわたる様々な課題について講演した。



労務管理について講演する土屋氏と佐藤会長を囲んでのJKKの会員たち



社員、過失により会社の施設、備品等を損壊した社員、会社の営業機密を漏らしたり、信用を損なったり、競業会社の立ち上げや競業会社に就労など会社に損害を与える社員⑦能力不足社員、採用に当たり使用者が期待した業績、成果を挙げない社員⑧刑事事件で逮捕・拘留されたり、不倫・借金問題を抱えたり、同僚に政治・宗教・販売活動を行うなど私生活でトラブルを起こす社員⑨失踪し、連絡が取れない社員、服装・髪型に関する服務規律に違反する社員、二重就労などの副業をする社員、同僚や部下に付きまとう社員——となっている。

問題社員に対する実務対応では様々な取り決めがある。解雇が有効となるためには、当該解雇に合理性・相当性が認められなければならない。注意・指導・教育・懲戒・降格・配転等により、労働者に改善の機会を付与したかどうか問われるということ。まず解雇以外の手段で対応していくのが原則となっている。

コンシェルジュ読本作成委員会 第3回現地調査

コンシェルジュ読本作成委員会(多田計介委員長=シルバースター部会長)は1月28~29日に、3月までに作成を目指しているコンシェルジュ読本での「人にやさしい宿の心得」食事編の事例についての現地調査を静岡市清水区の「ホテルクエスト清水(竹内滋社長)」で行った。同ホテルが、第16回「人に優しい地域の宿づくり賞」で「生活習慣病患者にも提供できる、静岡の新しいおもてなし食『静岡健康美食 駿河湾レシピ』」をテーマとした事業が高く評価され選考委員会賞を受賞しているところから今回の委員会の開催となった。新しい食のおもてなしについては、同ホテルの竹内佑騎常務取締役が次のように語った。

◇長引く景気低迷や新たなライバル(格安ホテルチェーン)の出現によって、客足が鈍り始めていたため、集客面で攻めの営業への転換を図ったが、食事面では、ビジネスホテルでありながら宿泊客にワクワク感を与える狙いから「朝カレー」を朝食メニューに加えるなどして集客作戦を展開した。朝カレーは朝のみの提供で、野菜を通常のものよりも5倍にし、スパイス等にも気を使い、おなかにもやさしいものに仕上げた。こうして朝食で他社との差別化を図り、今では広告塔に使っている。こうした朝カレーを活用した集客力向上への取り組みが認められ、平成21年には静岡県が推進する「経営革新計画」に認定された。

◇宿泊部門と飲食部門<レストラン・宴会>を分けるという部門別業績管理を行うなかではじめてのが、糖尿病患者にも提供できるフルコース料理「駿河湾レシピ」で、これもまた、平成25年に朝カレーに続いて経営革新計画に認定された。駿河湾レシピは糖尿病・高血圧症、脂質異常症などの病気の有無にかかわらず、すべての人が「おいしさ」「満腹」「健康」をひとつも諦めることなく、「安心」して食べることでできる革命的レシピで、これは医師や栄養士の厳しい監修の下、ホテルのシェフが経験と技を結集して開発したものだ。フルコースは①カロリー 700kcal以下②糖質40g以下③塩分3g以下④良質な油の使用⑤地元食材の使用⑥美味しさの6条件をクリアしたもので、多くのマスコミも取材に訪れた。糖尿病とその予備群の合計は約2200万人。成人の4~5人に1人が該当し、その数は増え続けているといわれているが、多くの糖尿病患者も「駿河湾レシピ」には、涙を流すほどに喜んでくれている。フルコースは2カ月に一度更新される。前菜の盛



集客戦略について説明する竹内佑騎常務取締役

委員らによる現地調査の様子



説明会での意見交換



ホテルクエスト清水の竹内常務と青木一敏料理長を囲んでの委員たち



委員はフルコースの試食も行った



ホテルは地上9階建て、全76室



6皿のフルコースに含まれる、左から前菜の盛り合わせ、富士山サーモンのグリル、静岡県産牛すね肉の赤ワイン煮、そして低糖質の Pasta、6皿全てで700Kcal以下という驚きのメニュー

合せからデザートまでの6皿には濃厚なスープ、富士山サーモンのグリルの魚料理、静岡県産牛すね肉の赤ワイン煮の肉料理、そして、Pastaやドルチェの盛合せなどが含まれるが、全てを食べても従来のメニューであるPasta(ペペロンチーノ)1皿分より少ないカロリー、糖質、塩分となっている。また、からだ想いの低糖スイーツである「いとをかし」(宅配可能)もまた、「ふわふわのロールケーキ、とろける生チョコなのに驚きの低糖質(糖類90%off)」ということで注目されているのだ。ユニバーサルデザイン(UD)は「できるだけ多くの人が利用可能とするデザイン」であるが、同ホテルでは、駿河湾レシピを「UDツーリズムメニュー」として、また「生きがい」や「感動」など、様々な人の喜びや生活のアクセントを取り戻してくれる「新たなおもてなし食」として広く国内外に発信し、新たな旅行需要の創造に努めていきたいと考えている。

コンシェルジュ読本作成委員会 第4回現地調査

コンシェルジュ読本作成委員会(多田計介委員長=シルバースター部会長)は2月6日、宮城県仙台市の「江陽グランドホテル」で、コンシェルジュ読本作成における「人にやさしい宿の心得」いざという時編の事例で現地調査を行い、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市にある「ホテル望洋」の加藤英一社長(気仙沼支部長)による「被災者の受け入れ」をテーマとした講演を実施した。概要は次のとおり。

◇気仙沼市の内港・魚市場地区にあるホテル望洋は湾周辺に位置しているものの海拔15mの高台にあり、水の浸入を奇跡的に免れた。またホテルは大きな損傷を逃れ、避難した人は震災当日の2011年(平成23年)3月11日には約100人、12日には約250人になった。ホテルでは、公的な依頼もないまま、備蓄してあった米や灯油を振る舞った。

◇加藤氏は「ガス、水道、電気の全てが断たれた状況にあっての受け入れではあったが、ホテルはいろんな機能を有していることを改めて再認識した。まず食料では米の備蓄もあった。そしてプロパンガス、灯油ストーブ、さらにはろうそく、アルミホイルなど多くのアナログが危機を救った」と振り返る。以前に危機管理の講習をうけていた調理長がこれらを使って暖をとり、おにぎりを作ることができた。また、館内に集まった被災者を誘導する力は、ホテルの従業員が日々の仕事で身につけたものであり、緊急時でも非常に役立った。被災者であろうと誰であろうと館内にいる間は不自由をかけさせまいというおもてなしのこころは健在だった。

◇加藤氏は避難者たちを一堂に集め、ミーティングをすることによって様々なルールを取り決めた。その中にはトイレの使用の仕方もある。ビニール袋の使用により、トイレの機能マヒを避けることが出来た。加藤氏は「こうした行為は日頃の統率力をもって、また、徹底したトップダウンをもってことに当たるのが大切である」と述べている。48時間(長くても72時間)は自力で生き延びなくてはならないと覚悟を決めたことや、ホテル・旅館はいざという時は安否状況等の情報センターとなり、その対応にも時間を取られたことなど多くのことを語り、日ごろの心構えの大切さを説いた。

最後に「人道的支援の提供という強い気持ちからの受け入れとなったが、われわれ旅館ホテルは地域あつてのものであり、災害時での避難者や被災者たちの受け入れは社会的な責任であると考えている」と述べた。



説明会であいさつする多田委員長。下は講演者の加藤社長とホテル望洋(目の前には流れついた船も)



コンシェルジュ読本作成委員会は2月7日、山形県かみのやま温泉「日本の宿古窯(佐藤信幸社長)」にて、おもてなし編の現地調査を行った。

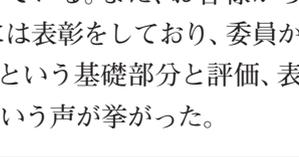
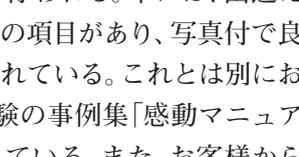
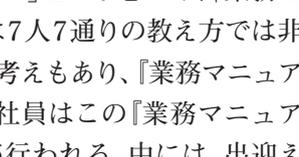
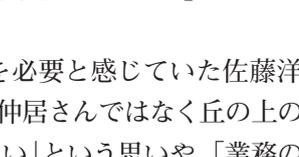
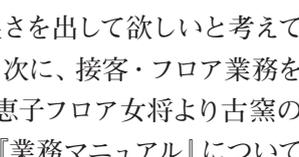
日本の宿古窯は全140室、収容人員750

名。冒頭、佐藤社長より「『業務マニュアル』は仕事の手順、段取りについて整理していて、おもてなしという部分は個々人の良さを出して欲しいと考えている。」と挨拶があった。次に、接客・フロア業務を管理する大城(おおき) 恵子フロア女将より古窯の接客業務の基本を成す『業務マニュアル』について説明があった。

接客サービスの改善を必要と感じていた佐藤洋詩恵女将の接客社員を「仲居さんではなく丘の上のスタッフに育てたい」という思いや、「業務の習熟度を上げるためには7人7通りの教え方では非効率」という佐藤社長の考えもあり、『業務マニュアル』を作り上げた。新入社員はこの『業務マニュアル』に沿って基本訓練が行われる。中には、出迎え業務、着物着付の他多くの項目があり、写真付で良い例、悪い例の説明がされている。これとは別にお客様に喜ばれた接客体験の事例集「感動マニュアル」を接客社員が作成している。また、お客様からの評価が高い接客社員には表彰をしており、委員からは、『業務マニュアル』という基礎部分と評価、表彰が社員を育てているという声が挙がった。



業務マニュアルについて説明する大城フロア女将



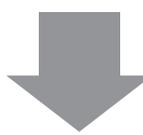
平成26年4月よりNHK放送受信料額変更 ～消費税額を転嫁～

平成26年4月の消費税率改定に伴い、放送受信料額が変更されます。これに伴い、組合を通じてのまとめ支払い（13%還元）での受信料額も以下のとおり変更になります。また、前払いにより平成26年4月以降の

受信料を支払い済みの場合は、次回請求時に消費税精算額が合わせて請求されますのでご注意ください。

なお、放送受信料額は、放送法に基づきNHKの収支予算を国会が承認後、正式決定となります。

【基本受信料額】				変更額			
現行				変更額			
契約種別	2ヶ月払	6ヶ月前払	12ヶ月前払	契約種別	2ヶ月払	6ヶ月前払	12ヶ月前払
衛星契約	4,440円	12,660円	24,650円	衛星契約	4,560円	13,015円	25,320円
地上契約	2,550円	7,270円	14,160円	地上契約	2,620円	7,475円	14,545円



まとめ支払い参加の場合（事業所割引(2契約目以降半額)適用 & 13%還元）

1台目（基本受信料額の87%）

契約種別	2ヶ月払額		6ヶ月前払額		12ヶ月前払額	
	現行	変更額	現行	変更額	現行	変更額
衛星契約	3,863円	3,968円	11,015円	11,324円	21,446円	22,029円
地上契約	2,219円	2,280円	6,326円	6,504円	12,320円	12,655円

2台目以降（基本受信料額の37%）

契約種別	2ヶ月払額		6ヶ月前払額		12ヶ月前払額	
	現行	変更額	現行	変更額	現行	変更額
衛星契約	1,643円	1,688円	4,685円	4,816円	9,121円	9,369円
地上契約	944円	970円	2,691円	2,766円	5,240円	5,382円

例 衛星契約100台：12ヶ月前払で取りまとめに参加の場合

現行 21,446円×1台+9,121円×99台=924,425円（A）

変更後 22,029円×1台+9,369円×99台=949,560円（B）

(B)-(A)=25,135円

※2.7%UP

《参考》受信料12ヶ月分前払い済の場合の精算方法▶次回の請求時に消費税精算分を合算

平成25年			平成26年			受信料額変更（消費税率改定）						10月～翌年9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
現行料金にて支払済（平成25年10月～平成26年9月）						新料金体系にて支払						
						差額発生（消費税精算額）						
						消費税精算額を合算して請求						

全旅連関係会議開催

[2月]

6日(木)

- 全旅連金融経営セミナー・個別相談会
於:大阪コロナホテル(大阪府大阪市)

6日(木)~7日(金)

- 第4回コンシェルジュ読本作成委員会現地調査
於:6日 江陽グランドホテル(宮城県仙台市)
講演:「ホテル望洋」社長 加藤英一氏
7日 日本の宿古窯(山形県かみのやま温泉)

17日(月)

- 全旅連青年部常任理事会 他

18日(火)

- 全国旅館会館耐震工事見学会
- 全国旅館政治連盟支部長会議
於:全国町村会館(東京都千代田区)
- 第2回全旅連理事会
於:全国町村会館(東京都千代田区)
- 全国旅館政治連盟全国の集い
於:赤坂四川飯店(東京都千代田区)
- 全旅連青年部県部長サミット 他
於:東京ビッグサイト(東京都江東区)

20日(木)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会

応募締切迫る!!

第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」

応募締切は3月31日。実施要領および応募用紙は、「宿ネット」の組合員専用ページよりダウンロードできます。多くの応募をお待ちしております。

▶「宿ネット」組合員専用ページ

<http://www.yadonet.ne.jp/member/>

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

活用しなきゃもったいない

助成金の活用というと申請手続きが難しく中小企業には縁のない話と思われがちだが果たして実態はどうだろう。言うまでもなく助成金は融資と違い返済の必要がない。内容は雇用関係の助成金(厚生労働省など)と新技術・新製品・新サービス(経済産業省など)に分けられる。その数は3千種類以上があり、かなりのものが予算を余らしたまま、私たちに知らされないままに毎年名前や形を変えて設定されている。

旅館ホテル業界では雇用関係のものが注目されがちだが、それだけではもったいない。例えば、経営内容に自信のある企業には「エネルギー使用合理化事業者支援補助金」がある。既存の空調や給湯などの設備更新の際に有効だ。また、中小事業者や新規事業を考えている場合は「ものづくり・商業・サービス補助金」や「創業補助金」がある。比較的ハードルが低いので一考の価値ありだ。助成金には国のものだけでなく各都道府県にも様々なものがあるので、種類や申請時期などの情報を的確につかみできるだけ事前に準備することが重要だ。その為には、助成金コンサルティング会社や社会保険労務士などの活用をお勧めしたい。

言うまでもないが、税理士や公認会計士、弁護士などと同様、あくまでも「志よく仕事ができる」相手を見極めることをお忘れなく。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

全旅連協定商社紹介

旅館経営者の皆様、全旅連担当ライフプランナーまでご相談ください!



事業承継



リスクマネジメント



医療・介護



従業員の福利厚生



老後生活



ともに生きるということ
LIFEPLANNER VALUE.
ライフプランナーバリュー

Sony Life

ソニー生命保険株式会社

〒107-8585
東京都港区南青山1-1-1
新青山ビル東館7F
TEL03-3475-8865
FAX03-3475-8824
全旅連ソニー生命ライフプランナー会

SL11-7261-0075

新しいご提案をさせていただきます。



株式会社エクシング

〒105-0011

東京都港区芝公園2-4-1

TEL: 0120-992-173

担当: 田中・佐野・安西

芝パークビルB館8F

FAX: 03-6848-8186

JOYSOUND

全旅連協定商社会名簿

(平成26年2月1日現在)

システム・シャイン・サービス(株)	ジュータン及び椅子のメンテナンス(シミ・汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
(株)トランスネット	予約サイト一元管理ツール「らくじゃん」	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F ホテル旅館事業部 マネージャー 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒107-8585 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館7F マーケティング部法人営業課 荒井俊之	TEL 03-3475-8865 FAX 03-3475-8824
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 リテール営業開発部 マーケット開発チーム 小林 誠	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
丸八真綿グループ(株)マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
サントリーフーズ(株) 【サントリーコーポレートビジネス(株)】	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル 東部広域自販機開発部 部長代理 大沼 潔 (西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18階 西部支社 法人営業1部部長 田中芳郎	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104
(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 Grantウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 大野雅矢	TEL 03-6835-6405 FAX 03-6834-8629
(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-5381-7832
(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)販売、音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 エルダ-事業開発部 営業課 牧野 茂	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0962
大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-1-2 エネルギー開発部 営業開発チーム 課長 真貝耕一郎	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
(株)コジマ	家電製品全般	〒171-0033 東京都豊島区高田3-23-23 高田本部ビル8F 営業本部 法人営業部 主任 古内隆宏	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
(株)エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOUND、UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 直販営業部法人開発G 担当部長 田中茂孝	TEL 0120-997-173 FAX 03-6848-8186
(株)まごのてライフサービス	空調機の高圧洗浄及びクリーニング	〒184-0013 東京都小金井市前原町5-1-14 北多摩建設会館1F 専務取締役 栗野和司	TEL 042-388-5123 FAX 042-316-1427
東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル12F 旅行業営業部 営業第一課 主任 渡邊典昭	TEL 03-5299-3521 FAX 03-5299-3551
AIU損害保険(株)	法人向損害保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形 山形支店 支店長 菅原 勲	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1 事業担当本部 企画部 次長 堀池元洋	TEL 03-5397-3333 FAX 03-5397-9446
楽天トラベル(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 国内営業部 吉崎弘記	TEL 050-5817-3366 FAX 03-6670-5237
(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
(株)ユーコム	ホテル・旅館専用宿泊管理業務支援システム	〒700-0901 岡山県岡山市北区本町10-17 本町第一ビル 坪田 達摩	TEL 086-234-7343 FAX 086-234-7333
(株)シーナッツ	予約・販売管理システムTレーリカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留8F システムソリューション本部 営業グループ 田代一義	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
(株)ワコム	ペンタブレット端末を活用した宿帳の電子化	〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31F タブレット営業本部 マーケティング部VMGr.マネージャー 中達 隆司	TEL 03-5337-6706 FAX 03-5337-6514
(株)アルバン	自動麻雀卓・イス・サイドテーブル等	〒164-0003 東京都中野区東中野2-1-2 営業部 須浦 正裕	TEL 03-3227-1190 FAX 03-3227-1150
(株)i.JTB	るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 販売本部 副本部長 山口 健一	TEL 03-5796-5856 FAX 03-5796-5863
三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務統括部 参事 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
(株)ウィンター・ハルター・ジャパン	食器洗浄機販売、メンテナンス等	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-6-12 新大阪駅前未広ビル1F 営業部 西日本チーム 永永 充	TEL 06-6886-5537 FAX 06-6886-6658
(有)プラス・ワン	除菌・消臭用品、レジオネラ菌除去等	〒700-0975 岡山県岡山市北区今8丁目14-28 代表取締役 田島浩太郎	TEL 086-245-3021 FAX 086-245-3071
ラナビイク(株)	照明設備等メンテナンス	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-15-6F 常務取締役 管理本部長 美齋津敏二	TEL 03-5425-4620 FAX 03-5425-4621

協賛契約商社

推奨契約商社

笑顔の真ん中に



アルバン 検索

ショールーム土日営業中 ALBAN

全自動麻雀卓の株式会社アルバン
03-3227-1190

第42回
国際ホテル・レストラン・ショー
にご来場いただき、
ありがとうございました。

Thank you!!
YOUCOM
39th
<http://www.youcom.co.jp/>

Thank you!!
YOUCOM
39th
<http://www.youcom.co.jp/>

東京：
☎105-0004
東京都港区
新橋 5-7-10
新橋 SN ビル 3F
TEL：03-3578-8670
FAX：03-3578-8516

Thank you!!
YOUCOM
39th
<http://www.youcom.co.jp/>

株式会社 ユーコム
代表取締役 湯浅 亨
<http://www.youcom.co.jp/>

本社：
☎700-0901
岡山県岡山市北区
本町10-17
本町第一ビル
TEL：086-234-7343
FAX：086-234-7333